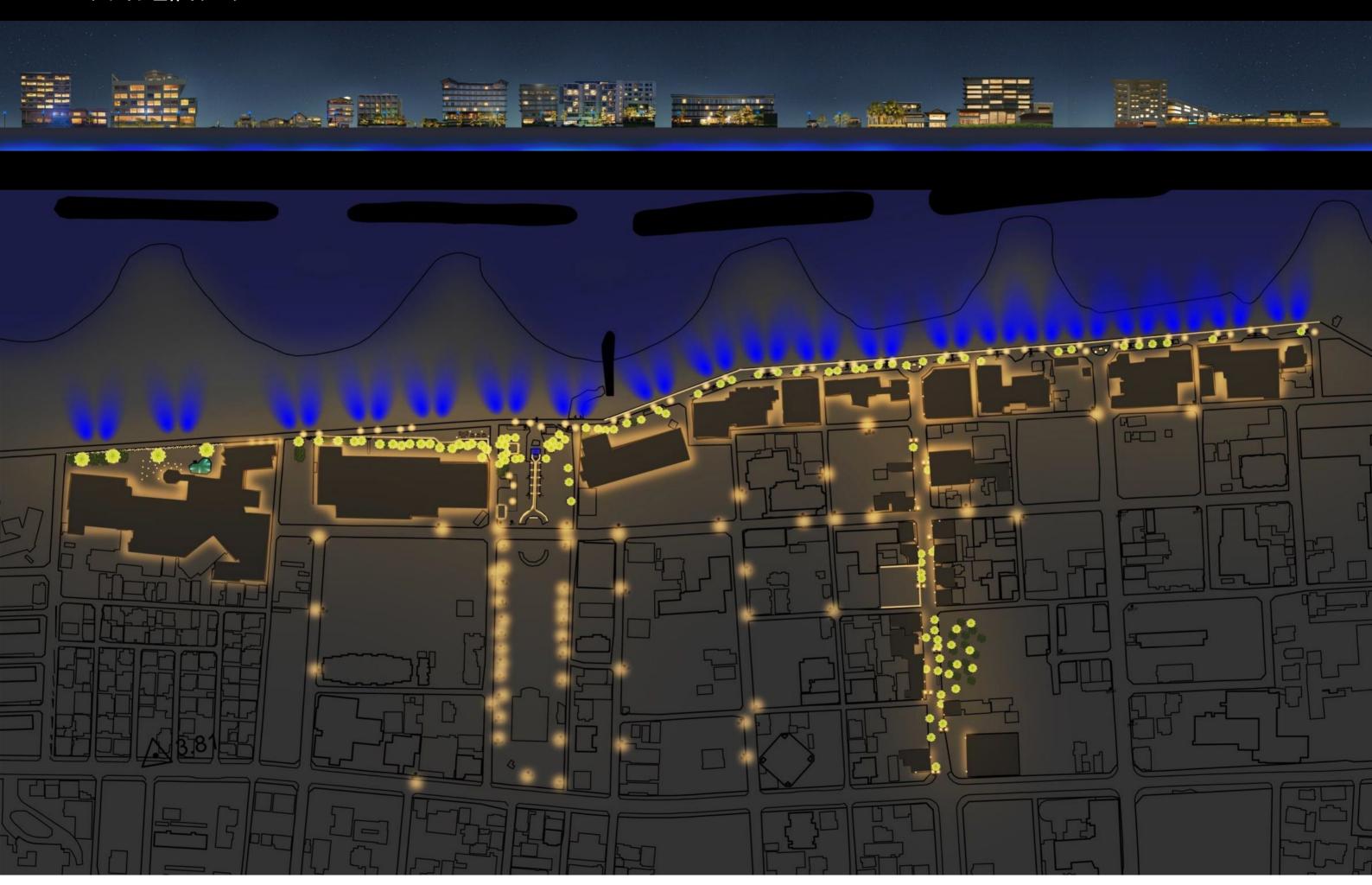
3-1 デザイン全体イメージ



公共照明の改修と植栽演出

- ・低色温度の情緒的なあかり
- ・ポール灯はグレア(眩しさ)のない**スポットライトポール型に**更新 ポールに複数のスポットライトを共架し、1灯は砂浜、その他は路面を照射する ポール先端にインジケーターを付け、海岸沿いの遊歩道に一体感を出し奥まで誘導する
- ・樹木のライトアップ
 - 鉛直面が明るくなり安心安全感を高め、眺めたくなる魅力的な夜の遊歩道を演出する
- ·調光制御可能な照明にし景観を担保しながら、深夜は最適な明るさに調光して省エネルギーを測る
- ・砂浜はフルカラーLEDスポットライトでカラー変化











スポットライトポールは光の方向をコントロールしながら1台のポールで複数のエリアを明るくできる

調光制御の例(草津川跡地公園(滋賀県)での取り組み)

日の	入30分前 18	: 00 19	30 21	22:00 23	: 00 _{24:00} 4:00 5	: 00 日	の出30分後
夏 (4/1-8/31)	ハイボール:ほぼ全点灯 樹木:全点灯 足元灯:全点灯	ハイポール:ほぼ全点灯 樹木:全点灯 足元灯:全点灯	ハイポール:約8割 樹木:全点灯 足元灯:全点灯	ハイポール:約6割 樹木:一部点灯 足元灯:全点灯	ハイポール:約3割 樹木:消灯 足元灯:消灯	ハイポール:ほぼ全点灯 樹木:一部点灯 足元灯:点灯	全て消灯
	1		4.	1.		1	

- ・配光制御 ・下方配光
- ・調光可能型の採用
- ・観光地に相応しい低色温度(3000K以下)
- ・省エネルギー配慮

砂浜の照明演出

皆生海岸で最も特徴的な温泉街に面した白い砂浜をライトアップし、皆生温泉でならではの夜間景観を創る。 砂浜照射用LED投光器は常設設備とし、砂浜全域がカラーライティングできるよう制御コントロールする。 通常は電球色もしくはブルー系で演出し、特異日にはイベントや歳時記に合わせたカラーをあらかじめ設定しておく。







砂浜ライトアップの事例







- ・配光制御
- ・カラーライティングの色設定は、まちの景観を損なわない様、 デザイン監修者の元で設定を行う



防波堤の演出

長く続く防波堤に照明演出することで、奥まで視線誘導し海岸沿いの一体感が生まれる

間接照明

- ・鉛直面の明るさ感があり、安心安全な遊歩道
- ・間接照明でライトアップすることで、落ち着いた上質な温泉街を演出



留意事項

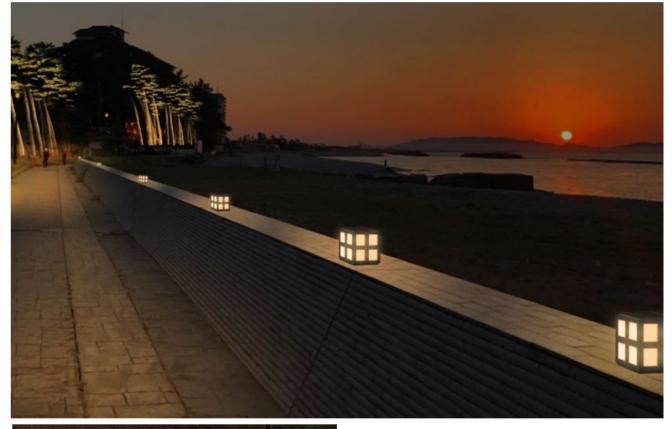
- ・観光地に相応しい低色温度(2700K以下)
- ・直接光源が見えないように目隠しをする
- ・省エネルギー配慮



このように堤防に笠木をつけて間接照明 を設置

ソーラー行灯

- ・遠くからでも小さな光を確認することができ、温泉街らしい程よい賑わい感が出る
- ・ソーラー電池のため、電気工事不要で設置が容易にできる

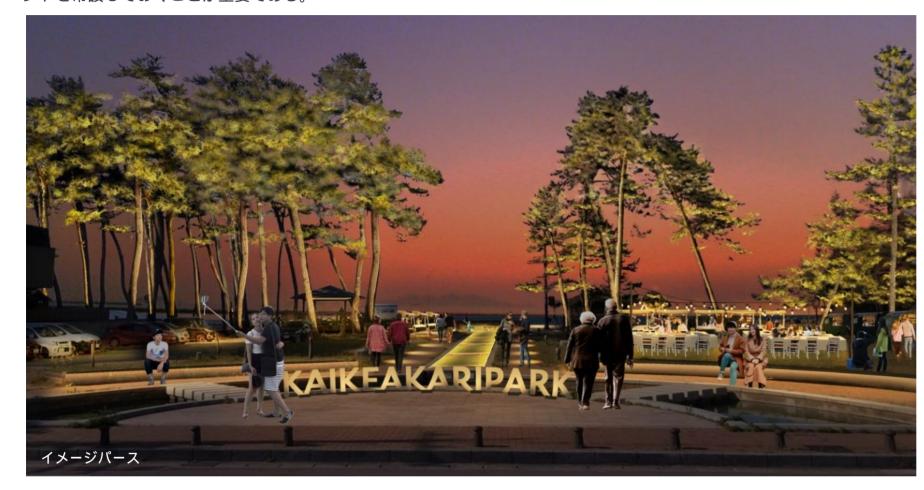




- ・観光地に相応しい低色温度(2700K以下)
- ・耐塩塗装した製品にすることが望ましい

皆生海浜公園をアップデート

温泉街の中にあり海に面した公園は、にぎわいエリアの中心として昼・夜ともに活用できる場所を創る。 松林のライトアップや水路の間接照明などの照明演出の他に、電気設備としてマルシェ等で利用できるイベントコンセントを常設しておくことが重要である。



東屋 夜間は暗く利用できなかったが、あかりを灯し滞留できる場所とする



水路は水を抜き芝生を貼る



神市リバーウォーク

撮影スポットを創る





噴水カラーライティング





イベントや歳時記に合わせてカラー変化

イベント用屋外コンセント



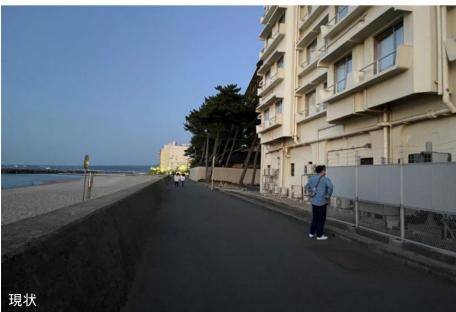
留意事項 —

- ・色温度は温泉街に相応しい低色温度 (2700K以下)
- ・カラーライティングの色設定は、まちの景観を損なわない様、デザイン監修者の元で設定を行う
- ・屋外コンセントは鍵付きにし、利用者 のみ使用できるよう管理する

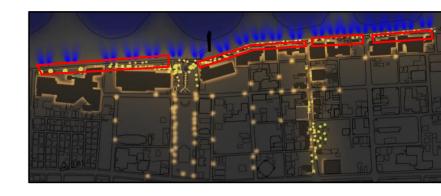
テイクアウト店舗とホテル外構照明の効果

室外機等の設備は木塀で目隠し 1階海側の1部屋をテイクアウトの店舗へと改修し、賑わいのある遊歩道を創る









- ・観光地に相応しい低色温度(2700K以下)
- ・直接光源が見えないように工夫をする
- ・座れる場所を設ける
- ・店舗閉店後も外構照明は深夜になるまでは点灯できるようにする





食べ歩きができることにより、 日帰り客も満足できる温泉街になる







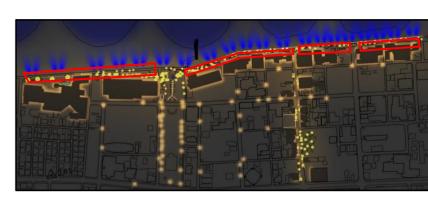
その他海外事例

ホテルガーデン内の屋台店舗やプールサイドバーの活用

生垣の一部を開口し、宿泊客と同じ店舗を外部エリアから利用できる工夫 ガーテンエリアの店舗のダブル活用が可能であり、エリアの回遊性も高まる















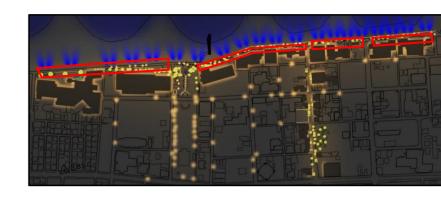
海外のビーチリゾートの事例

- ・ライトアップは温泉街に相応しい低色温度(2700K以下)
- ・イルミネーションを設置する場合は、旅館・ホテルの品格を損なわない カラーの選定をする(電球色や淡いカラーなど)
- ・座れる場所を設ける

民地敷地活用とにぎわい誘導の灯り

遊歩道に面した民地にベンチなどを設置し、来街者が座って飲食や海を眺めるなど、 滞留スペースをつくり、まちのにぎわいに寄与する。





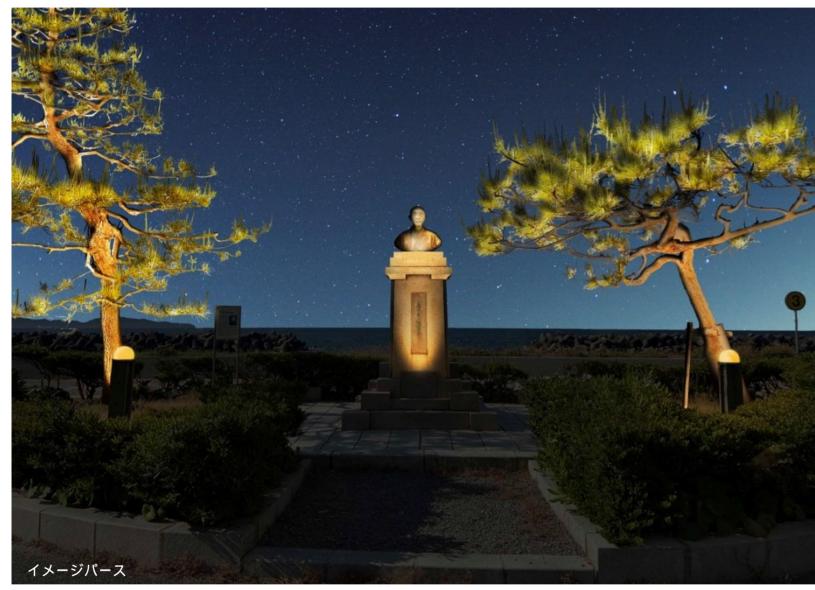


- ・色温度は温泉街に相応しい低色温度(2700K以下) ・遠くからでもにぎわい感が見えるよう、柔らかい面発光の照明器具を配置する (眩しさがないものを選定する)

既存彫刻の景観資源化

今ある資源を活かしライトアップすることでまちの価値を高め、旅館関係者や地元住民が愛着を持つ資源となる

有本松太郎翁像





日本トライアスロン発祥記念碑





神戸市フラワーロード

大阪府御堂筋



境港市水木しげるロード



宮津市

- ・色温度は温泉街に相応しい低色温度(2700K以下)
- ・配光制御のされた狭角スポットライトを選定する

四条通り 美的価値創出

海辺へのメインルートとなる四条通りは、温泉街の入り口らしく情緒的な照明環境に整える。 既存照明は色温度を電球色にし、店舗ファサードや民間駐車場のフェンスなどをできるだけ木製にし間接照明を組み込むなどして 安心感と美的価値の創出に努める

ファサードの木製化粧と照明色温度改修 皆生温泉アイコン照明の装備



閉店後も点灯





金沢東茶屋街や倉敷も閉店しているが、あかりを灯して夜間景観を保持している。

お揃いの提灯でまちのアイコンに







提灯イメージ

長門湯本温泉では各旅館や個人宅の軒先に設置

樹木ライトアップ



駐車場の美創



駐車場の塀は木塀にし、メイン通りの日中の見栄えを改善するとともに、 夜は間接照明で鉛直面を明るくすることで、暗がりがなくなり安心安全な場所となる。

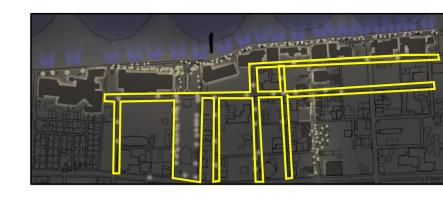
- ・色温度は温泉街に相応しい低色温度(2700K以下)
- ・ファサード改修はできるだけ木製を使用
- ・提灯は夜間常時点灯できるようにタイマーや電池式にする

道路照明の改修

現在白色の拡散光のため、温泉街にふさわしい落ち着いた電球色にし、 情緒的な環境に整える

留意事項

- ・色温度は温泉街に相応しい低色温度(3000K以下)
- ・配光制御
- ・下方配光

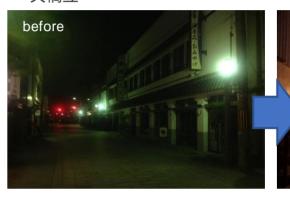








天橋立





神戸市フラワーロード





電球色シリコンフィルター

既にLED化されている箇所は、 色抜けのしにくいシリコンフィルターで色温度を下げることも可能



